萱瀬☆物語

大村市立萱瀬小学校
学校だより　第４４号
令和６年１月９日発行　校長　髙以良康弘

「やさしく」「かしこく」「たくましく」

新年明けましておめでとうございます
本年もよろしくお願い申し上げます

令和６年（２０２４年辰年）が始まりました。皆様におかれましては、穏やかに新年を迎えられたことと思います。新年早々１月１日夕方には、石川県能登半島で大地震が発生しました。驚きと心配の中に始まった元旦でした。被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。

「一年の計は元旦にあり」の言葉どおり、子供たちに今年の目標・３学期の目標を立てて取り組ませていきたいと思います。私自身も初心を忘れず、萱瀬小学校の子供たち一人一人を大切にしていきたいと思います。

始業式で子供たちに次のようなことを話しました。「１年間のまとめと次の学年の準備をしっかり行うために『凡事徹底』に取り組んでほしい。」「凡事徹底」とは、当たり前のことを普通に続けることです。難しいことではありません。

全員でこの『凡事徹底』に取り組ませたいと思っています。また、合言葉『やさしさ・ゆめ・げん気』のもと、子供たちと教職員が一丸となって目標にチャレンジし続けることは変わりません。軸足をぶらさず３学期をやり抜きます。

６年生は最後の３学期。「立つ鳥跡を濁さず」ということわざがありますが、学校・地域・下級生、様々なもの・人・ことに感謝を表す行動。思い出を心に刻む３ヶ月にしてほしいと願っています。

保護者の皆様、地域の方々、今年も変わらぬご理解とご支援をお願いします。

「萱瀬っ子たちへ」

わたしは　あなたが　大好きです
あなたは　わたしの自慢です　宝物です
だから　わたしは
あなたを　どんなときも
応援します　大切にします

児童の作文発表を紹介します。

２学期の終業式で、児童代表が作文を発表しましたので、紹介します。

「２学期を振り返って」　　１年　女子児童

２学期は、たのしかったことやがんばったことがたくさんありました。

１つ目は、黒木小学校との交流会です。きれいな葉っぱやどんぐりを拾ったり、太鼓をたたいたりしました。中でも虫探しが一番たのしかったです。これからも、黒木小のお友達と仲良くしてたのしい思い出がつくれたらいいと思いました。

２つ目は、相撲大会です。練習を始めるとき、先生が、「勝つ人がいたら負ける人がいる。勝ち負けではなく、最後までがんばることが大切。」と言われたので、信じてがんばりました。本番は一人に勝って一人に負けました。先生の言ったことが本当で、すごいと思いました。

３つ目は、算数のたし算です。〇〇さんが、９＋４の計算は、９に４の１をたしたらいいと言ったので、〇〇さんとわたしが手をあげて、計算の仕方を発表しました。そのあと、先生が、「教科書の次のページを見てごらん。と言いました。」そのページをあけたら、わたしたちが発表した考えがのっていました。３人で答えを見つけられたので、わたしたちも、こうやってべんきょうしながら、新しいことを見つけられることが分かりました。

これからも、もっともっと新しいことを見つけられるように、がんばりたいです。